

佐賀県立巖木高等学校の在り方について慎重な対応を求める意見書

佐賀県立巖木高等学校（以下「巖木高校」という。）は、昭和26年、巖木町牧瀬に開校して以来、唐津市の南部に位置する普通高校として、地元巖木町だけでなく市内一円はもちろんのこと、遠くは佐賀市内からの子弟の学舎として多くの卒業生を輩出してきた。

特に開校以来、地域との結びつきが強い高校としての存在価値を有し、学校林を有するだけでなく、過去には援農や最近は小学校や介護施設とも連携を強め、即社会人として役に立つ人材を輩出するユニークな学校教育がなされている。

こうした中、巖木高校と唐津西高校との統合が報道されている。

よって、巖木高校の在り方については、地域活性化のため地元協議などを含め、慎重な対応を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年12月24日

佐賀県唐津市議会

佐 賀 県 知 事 古 川 康 様